

令和7年度第2回四日市市地方創生推進会議 議事概要

1. 日時 令和7年7月11日（金）午後1時30分から
2. 場所 四日市市役所9階 教育委員会室
3. 出席者 杉浦会長、秋田委員、田中委員、廣瀬委員（オンライン）、別府委員
四日市市 政策推進部 矢澤参事兼政策推進課長、東内政策推進課付主幹、
濱口政策推進課主事

4. 資料等 別添のとおり

5. 傍聴者 なし

6. 議題

- (1) 「第3期四日市市まち・ひと・しごと総合戦略」の策定について
- (2) 新しい地方経済・生活環境創生交付金にかかる状況報告について
- (3) 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）にかかる状況報告について

※杉浦会長が道路事情で会議開始時間に到着しなかったことから、委員の同意を得て、議題（2）、（3）から会議を開始することとなった。

7. 内容

矢澤参事 本日は、ご多用のところ第2回四日市市地方創生推進会議にご参集いただき、ありがとうございます。定刻となりましたが、杉浦会長から、道路事情により到着が遅れる旨ご連絡がありました。そこで、本日の議題については、（2）新しい地方経済・生活環境創生交付金にかかる状況報告について、（3）地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）にかかる状況報告についての2件の報告を先に行い、杉浦会長の到着後、（1）「第3期四日市市まち・ひと・しごと総合戦略」の策定についてを議題としていただいてはどうかと考えておりますが、よろしいでしょうか。

（異議なし）

矢澤参事 ありがとうございます。それでは、会議を始めたいと存じます。あらためまして、進行を務めさせていただきます四日市市政策推進課長の矢澤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

会議に入る前に、3点、ご報告させていただきたくします。本日の会議につきましては、委員5名全員のご出席をいただく予定となっておりますが、現時点で4名の委員にご出席いただいていることから、四日市市地方創生推進会議設置要綱第6条第2項の規定を満たしておりますのでご報告させていただきます。また、本日、廣瀬委員はWeb参加となっておりますので、報告させていただきます。廣瀬委員、よろしくお願いいたします。

本会議は公開の会議となっております。現在はいらっしゃいませんが、傍聴の方、報道機関の方が入る可能性がありますので、委員の皆さまにおかれましては、あらかじめご了承くださいければと思います。

(2) 新しい地方経済・生活環境創生交付金にかかる状況報告について

(3) 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）にかかる状況報告について

矢澤参事 それでは、(2) 新しい地方経済・生活環境創生交付金にかかる状況報告について、(3) 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）にかかる状況報告についてを議題として、事務局より2件まとめて報告させていただきます。

（事務局 東内より資料を用いて報告）

矢澤参事 事務局から報告させていただきました事項について、ご質問などがありましたら、お願いいたします。

別府委員 地方創生の交付金について、これは、市の事業に対して交付されるものだと思いますが、デジタル実装や地域防災型などいろいろある中で、交付金の額や補助率は事業によって異なるということでしょうか。

事務局 交付金の上限はいずれも事業費の2分の1以内となっております。資料にお示した金額は国交付金の額となっておりますので、市の負担額と合わせて、事業費は交付金額の倍以上となります。

別府委員 実際には、資料の交付金の額の倍以上の額がかかっているということですね。

事務局 お見込みのとおりです。

矢澤参事 委員からお話の合った地域防災型、本市はトイレトラックの購入に使用していますが、これはデジタル実装などに加えて、能登半島地震を受けて昨年度新設された制度で、少し他とは毛色が違っていています。トイレトラックは緊急時には大活躍する中で、やはり平時にどのように使っていくのかも大切になってき

ます。現時点では、イベントなどに出して行って、本市もこういったものを持っているということを市民にPRするといったこともしていきたいと考えています。

別府委員 近隣の自治体でもトイレトレーラーを導入されている事例があるのでしょうか。

事務局 県内外の自治体でも少しずつ導入が進んでいます。現在は、三重県もトイレトラックを所有していますが、能登半島地震のときは、三重県がこれをもって行って避難所などに設置し、被災地の支援にとっても役に立ったと聞いています。南海トラフなどの自然災害がいつ発生してもおかしくない中で、本市でも導入の検討を進めてきており、今回交付金を活用して導入を行うというところ です。

別府委員 市内での活用だけでなく、災害のときには広域連携の観点などからも活用できそうですね。

矢澤参事 おっしゃるとおりで、まずは平時での活用を進めていく中で、災害時には市内はもとより、広域連携による支援にも活用できればと考えています。

事務局 広域連携という観点から少し補足させていただきますと、トイレトラックのメーカー様がトイレトラックを購入した自治体などを対象に、相互支援のネットワークを構築しています。能登半島地震でもこのネットワークを活用して支援に入ったと聞いており、今後、局地的に被害が発生した場合などにも相互に応援ができるのではないかと、こういった広域連携のベースがあったことも、本市がトイレトラックの購入を進めた一因となりました。

秋田委員 企業版ふるさと納税について、先ほど事務局からも説明があったので確認も含めてですが、企業にこういったメリットがあるのか改めて教えてください。

矢澤参事 企業における損金算入が通常の寄附では3割となっていますが、企業版ふるさと納税では、加えて法人税から最大で6割が控除されます。この制度を活用することで、たとえば1,000万円の寄附であれば、損金算入と法人税からの控除を合わせて最大で9割が控除されますので、残りの1割、100万円を企業に負担いただくということになります。また、個人のふるさと納税では返礼品などもありますが、企業版ふるさと納税では、控除に加え、たとえば先ほどのトイレトラックを事例にあげると、車体に企業の名前や取組を入れるといったように、企業の広報やCSRの観点での取組にも活用できる可能

性があります。

秋田委員 企業版ふるさと納税を充当する事業について、たとえば寄附した企業が事業や用途、方向性などを指定するといったこともできるのでしょうか。

矢澤参事 企業様のご意向を尊重して活用していくことになります。ご意向については、市の産業施策全般に活用してほしいといったような包括的な形で結構ですし、たとえば、令和4年度に寄附いただいた企業様は、本市が進めている自動運転の実証に賛同いただいたということで、実装に向けた取組に活用してほしいといったご意向があったため、この事業に充当させていただきました。

このように、企業様のたまかなご意向をふるさと納税の担当課が聞き取り、そのあと事業担当課も含めてヒアリングを行うことで、市として最も適切な事業に活用させていただきます。

また、企業版ふるさと納税は、市外に本社、本店を構える企業様が対象ということで、大手の製造業などで、市内に事業所や工場を構えている企業様などを中心に、PRを行っているといったところです。

別府委員 寄附いただいた企業名は公表するのでしょうか。

矢澤参事 寄附いただく金額も用途も様々ですので、企業名も含めてどこまで公表するのは企業様のご意向を踏まえていくことになります。

企業版ふるさと納税や、先にご説明した交付金の今後の取扱については、国の動向によるところもありますが、先日閣議決定された「地方創生2.0」が始動する中で、これを踏まえた具体的な政策を位置付ける、国の新しい総合戦略はまだでていないものの、これまでは、人口の自然減対策などが打ち出されていた中で、地方創生2.0では、人口減少下を踏まえた経済対策の推進という観点が出てきていると感じています。

コロナ禍を経て、若い女性が東京圏に流出してしまうということで、地方に若い人が働くことができる場を確保し、東京に出ていなくてもよい環境を構築するといったことや、学びの面でも、本市では現在、東京圏や関西圏、愛知県などに行かないといけない、出て行ってしまとなかなか戻ってこないといったところがあります。これは本市だけの問題でなく、先の愛知県でも、働く場はあっても、学びで東京圏に出てしまい戻ってこないといったように、全国的な課題でもあります。本市として地域の実情を踏まえて、こういった課題にどのように取り組んでいくのかが重要になってきます。このような観点で申し上げますと、やはりこの後、議論いただく新しい

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」などでも、こういった対策をしっかりと位置付けていく必要があると考えていますので、引き続きよろしくお願いします。

(1)「第3期四日市市まち・ひと・しごと総合戦略」の策定について

矢澤参事 (1)「第3期四日市市まち・ひと・しごと総合戦略」の策定について、まだ会長がいらっしゃるまで時間がありそうですので、先に資料の説明をさせていただきますのでよろしいでしょうか。

(異議なし)

矢澤参事 資料は事前に会長、委員の皆さんにご提供していますので、この資料に基づいて事務局から説明いたします。

(事務局 東内より資料を用いて報告)

(報告後、会長が到着したため、以降は会長が進行を実施。)

杉浦会長 遅くなり大変申し訳ありませんでした。前回の会議時に委員からご提案、ご指摘があった事項について、それを反映させて資料を作成いただいています。前回に引き続き、今回も、資料について、各委員より順番にご意見をいただきたいと思います。それでは、秋田委員からよろしくお願いいたします。

秋田委員 簡単なところで、14ページの港への客船の寄港の画像について、コロナ禍以前のかかなり前のものであるため、これでいいのかなと感じました。

矢澤参事 そうですね。コロナのときはもちろん港への寄港はありませんでしたが、本文にはコロナからの回復についても記載しているので、最近のもので良い画像があれば検討したいと思います。客船の誘致については、商工会議所さんが中心となって盛り上げていただいていますので、何か良い画像があれば提供いただければと思います。

秋田委員 最近の寄港時の画像があると思いますので、また確認して提供したいと思います。もう一点、前回の会議でも少し指摘しましたが、やはり一部の項目については数値目標に対してKPIがマッチしていないように感じる箇所がありました。

杉浦会長 今の秋田委員からのご発言について、事務局よりコメントをお願いします。

矢澤参事 KPIにつきましては、先の会議でも申し上げたとおり、一昨年の会議で委員の皆さんからいただいたご指摘を踏まえてかなり意識して作成しました。ここから大きく直していくというのは、少し難しいところもありますが、これで終わりということではなく、行政としても今後適切な KPI の設定、ゴールについては、次の策定のときに、より一層意識して進めていきたいと考えています。

杉浦会長 それでは廣瀬委員、お願いします。

廣瀬委員 本日は Web で参加させていただいています。よろしくお願いします。今回の案を事前にいただいている中で、前回の会議での意見や指摘をよく反映いただいているなということを感じました。データも明確で分かりやすくなっていますし、病院についても記載していただいて、これはしっかりと進んでいくと良いと感じました。

これで、大体終了かなとは思いますが、1 点前回お伝えすればよかったのですが、先ほどご説明いただいた交付金の資料の中で、地域防災緊急整備型の活用状況があったのですが、南海トラフ地震については、100 年に 1 回来る、2035 年を中央値として、2030 年から 2040 年には来るのではないかとされています。そのような中で、防災というのは非常に重要となると思いますが、防災の記述がなかったのも、これを記載してはどうかと感じました。

矢澤参事 現在の案には防災の記載はないのですが、地方創生については防災もある中で、本市の総合戦略については、どちらかというと人口を増やす、経済を強くするといった点を重点的に記載してきております。この戦略のベースになっている本市の総合計画、これにつきましては、前回の会議でも少しご説明しましたとおり、10 年の計画の中間見直しを先日行いましたが、この中で防災についても記載しています。こういったことから、戦略に記載がないから防災に取り組まないということではなく、戦略の性質上、人口を増やす、経済を強くするといった点を強く出しているという形になっています。

杉浦会長 別府委員、お願いします。

別府委員 私も、前回お話しした内容をしっかりと反映いただいていると感じました。一点、確認なのですが、本文 10 ページの三重大大学のサテライト等が入居する施設がオープンといった部分、これはこのまま進んでいくといった形になるのでしょうか。

矢澤参事 現在は、民間の施設に入居いただいている中で、今私どもが整備している施設に入居していただくことを検討しています。引き続き三重大大学さんに残

っていただき、連携していきたいと考えています。

別府委員　じばさんを産業の拠点としてリニューアルしていくというお話もある中で、こういった記載は大切なと感じました。

もう一点確認ですが、市立病院の KPI について、経常収支比率を上げていただいているが、これは行政の観点での経常収支比率ではなく、民間の経常収支比率であるという理解で良かったでしょうか。行政の観点での経常収支比率だと、高くなると良くないといった中で、目標が 100%以上ということですので、民間視点だと感じましたが、念のため確認です。

矢澤参事　ご指摘のとおり、市立病院は企業会計を採用しておりますので、民間視点での経常収支比率ということになります。

杉浦会長　田中委員、お願いします。

田中委員　12 ページの認定農業者の推移のグラフですが、相対的に図表が小さく、文字がつぶれていて見にくいと感じました。その他のページについても、図表の大きさや記載などが統一されていない感じがしましたので、全体的にそろえて、見やすくしてはどうかと感じました。

矢澤参事　前回の会議でご意見いただいたところは修正しましたが、ご指摘を踏まえて、全体的に見やすくそろえたいと思います。

杉浦会長　私が到着する前にお話があったかもしれないのですが、前回の会議時の委員の意見について、今回の案に反映できなかった部分についても、時間の限りでご報告いただければと思います。

私も、前回の会議での意見を今回の案に取り入れていただき、非常に記載が豊かになったと感じていますが、今回の会議をもって完成という形になるのでしょうか。また、今後、ホームページにデータを掲載されて、紙ベースでも冊子などにして配布していくということになるのでしょうか。この後の流れをもう一度確認させてください。

矢澤参事　今後ですが、今回の会議を踏まえて、もう一度市議会に最終案として報告を行い、市議会から意見があれば、それを踏まえて修正等を行った上で完成となります。また、完成後は、データをホームページに掲載するほか、冊子でも印刷して配布します。このほか、企業版ふるさと納税については、この総合戦略がベースになっているということで、完成後の総合戦略を踏まえて、企業版ふるさと納税のパンフレットなどを修正して作成するといったこともあると考えています。

杉浦会長 わかりました。少し私の所感を申し上げますと、2年前にこのメンバーで初めてお会いしたときから比べると、戦略について非常にわかりやすく作成いただき、KPIなども明確になり、目標の達成に向けて、今後何をしていくのか、何を回していくのかといったこともはっきりした、大分バージョンアップしたのではないかと感じています。

ここまで、委員の皆さんから専門的な見地からは、案の修正などはなかったかと思いますが、一つ、田中委員からご指摘があったように、最終的によりよい戦略を策定していくために、図表の統一や記載のトーンを合わせてほしいと思います。具体的に言いますと、図表のタイトルがあったりなかったりといったことや、フォントもさまざま、レイアウトも上付きなのか下付きなのか、センタリングなのか左寄せなのか、ばらばらになっていると思います。四日市市のルールがあるのかもしれませんが、7ページの表は、単位としての人、パーセントを外出しにしているにも関わらず、図表中にも単位が入っている、そのほかのページの図表はそうっていないといった点なども気になりました。また、8ページの合計特殊出生率の図表も見にくくて、私も目が弱いのですが、ユニバーサルデザインを踏まえたものになっていないと感じましたので、この点も考慮していただきたいと思います。このほか、8ページの合計特殊出生率の図表では、出所が、資料：三重県人口動態総覧より、と記載されている中で、7ページの人口推計の図表は計画などではあまり使われないかっこ（＜＞）を用いて、＜四日市市 将来推計人口（各年10月1日時点）＞となっているなど統一されていない。出典そのものについても、とても詳しい記載があるもの、そうでないもの、記載がないものといったように、ばらばらになっています。せっかくよい戦略案を作成いただいているので、このあたりについては、しっかりと整えていただきたいと思います。

中身につきましては、私も事前に見させていただきましたが、特に気になる点はありませんでした。

矢澤参事 いろいろな資料から持ってきているところもあるのですが、行政に欠けている視点だと思います。見やすく、わかりやすくといった点は、これからの行政に大変求められるものだと思いますので、完成までには、しっかりと対応させていただきたいと思います。

杉浦会長 行政の中で、ユニバーサルデザインの基準、たとえばこのUDフォントを使いなさいなどといった基準はあるのでしょうか。

矢澤参事 市として明確なものはない中で、見やすい資料を意識しつつも、やはり部

局のカラーが出てしまうところがあります。特に、今回のような場合は、市内外からいろいろな資料を持ってきていることもあり、市でデータがあるものは対応するところ、元データがないものは難しいところもありますが、今回、この戦略案については、ご指摘も踏まえてできる限り統一して、直していきたいと思います。

続きまして、先ほど会長からお話があった、前回の会議でのご意見やご指摘の中で、今回の案に反映できなかったものについて、簡単に担当から説明させていただきます。

事務局 様々なご意見をいただきありがとうございました。前回の会議でいただいたご意見、ご指摘につきましては、可能な限り総合戦略案に反映させるべく、事務局から担当部局に対して調整を行いました。その中で、申し訳ありませんが修正に至らなかった事項、また、目標値の達成に向けての手法に関するご質問などにつきまして、主なものをご説明させていただきます。

まず、全体的なところで、KPI に関するご意見、たとえば 10 ページの基本目標 1 の農業算出額については、秋田委員から目標値が低いのではないかと、あるいは廣瀬委員からは、反対に達成が難しいのではないかとといったご意見をいただきましたが、本市の総合戦略が、総合計画に掲げる基本計画、推進計画から地方創生に資する産業や賑わい、子育て・子育て、健康といった分野の政策・施策を体系的に抽出して実施することとしていることから、先に中間見直しを行った総合計画の指標を採用している項目につきましては、この指標を変更することなく採用することとさせていただきました。

個別のところ、別府委員からのご指摘で、13 ページのアグリビジネスの目標値が基準値の 3 倍であることについて、目標達成に向けてどのように進めていくのかといった、これはご質問でございますが、お話があったところで、担当部局からは、過去の伸び率を基に目標値を算出し、達成に向けては、説明会や個別相談会の開催を充実させていくとの回答がありました。

次に、会長から 14 ページの基本目標 2 のふるさと納税の目標値の設定について、現在、ふるさと納税分が流出超過となっている中で、赤字部分を解消し、差し引きでプラスにするといった視点を入れてはどうかのご意見をいただきました。担当部局からはこのような考え方は重要としつつも、まずは、総合計画に位置付けた 10 億円という大きな目標を目指して、これを達成できるよう情報発信などに取り組んでいきたいと考えているとの回答があり、検討した結果、記載の修正には至りませんでした。

次に、廣瀬委員から 16 ページの中心市街地の歩行者数量について、中心市街地再開発プロジェクトが進んでいる中では、少し物足りないということ

で、この目標値についてどのように考えているかといったご意見、ご質問がありました。この指標についても総合計画で採用しているものであり、修正は行わないものの、担当部局からは、委員ご指摘のとおり、中心市街地再開発プロジェクトなどが進んでいく中では、歩行者流量も増加すると見込まれることから、全体像が見えてきた時点で情報収集を行い、次回の戦略策定時には、上方修正した数値目標が設定できるとのではないかと考えているとの回答がありました。

次に、秋田委員から、20 ページの「学校に行くのは楽しいと思いますか」に関する肯定的回答の割合について、総合戦略の KPI にふさわしくない、違和感があるといったご指摘をいただいたところ、18 ページの基本目標 3 「将来の夢や目標を持っていますか」に関する肯定的回答の割合という総合計画の指標を達成するための一環として、この KPI を活用したいとの担当部局の意向もあり、記載の修正には至っておりません。

続いて、別府委員から 22 ページの KPI に、空き家率を追加してはどうかというご意見をいただき、担当部局に確認したところ、登記の有無なども含めて、空き家の把握が難しい中で、空き家の調査も数年に 1 度しか行われていないことから、経年的な追跡が難しく、指標の検証が困難との回答があり、記載の追加には至りませんでした。

また、同じ空き家のところで、会長から空き家の社会課題の解決について、攻めの空き家対策という視点で記載してはどうかといったところで、行政が空き家を借り上げ、民間へ貸し付けるなどの手法もご提案いただきました。担当部局からは、先に申し上げた空き家把握の課題に加え、現時点ではそこまでの検討を進めていない中で、関係部局などとの調整も必要であり、早期の対応は難しいとの回答があったことから、今回は反映を見送っております。

次に、廣瀬委員から、25 ページの認知症サポーターの人数について、目標値の達成が困難ではないかというご質問をいただいたところ、担当部局からは、今後、開拓の余地が大きい企業や地域に協力を求めながら、目標達成に向けて事業を進めていきたいと考えているとの回答がありました。

最後に、会長からフレイル対策について、より前向きに記載してはどうかといったご意見をいただいたところ、担当部局からは、当該事業が始まったばかりということもあり、今後、事業の進捗を見ながら検討を行っていききたいとの回答あったことから、記載の修正には至りませんでした。

多様なご意見、ご指摘をいただきまことにありがとうございました。今回は修正に至らなかった事項につきましても、今後担当部局と共有し、進捗の

中で、次回の戦略に反映できるものは位置付けてまいりたいと考えております。引き続きよろしくお願いいたします。

杉浦会長 ただ今、事務局から、反映できなかった意見等について説明がありました。このことについて、ご意見などはありますか。

(意見なし)

杉浦会長 今後につきましても、将来を展望するにあたり、各委員のご意見などを参考にいただければと思います。フォントの統一などを指摘させていただきましたが、逆に言うと、ここまで来たということで大きく進展したと思います。委員のご意見なども相当反映いただいたということで理解しました。

本日の議題については以上となります。事務局から今後の流れについて、最後にご説明をお願いします。

矢澤参事 杉浦会長、委員の皆さま、大変お忙しい中ありがとうございました。先にもご説明しましたとおり、本日の会議を踏まえて、最終案を9月に議会に報告します。議会からご意見があればそれを踏まえて修正したうえで、早ければ10月から第3期になりますが新しい総合戦略をスタートできるよう進めていきたいと考えています。またいろいろな点でご相談させていただくこともあろうかと思えます。引き続き、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

以 上 (終了午後2時47分)